

はばたき

大分大学教育福祉科学部
附属小学校便り No.1
平成27年 6月1日

よりよいものを創り出す

校長 土谷 陽史

今、附属小で重点的に取り組んでいること・・・それは、「無言清掃」「気持ちのよいあいさつ」「トイレのスリッパをそろえる」の3つの生活指導です。

取り組む理由は、第一に「学びに向かう力」の育成にあります。「学びに向かう力」とは、すなわち「主体性を持って多様な人々と協働する態度」といえ、極めて重要な力といえます。

第二に、「問題解決学習」の推進があります。附属小が長年取り組んできた「問題解決学習」という財産を、生活場面に展開したものです。答えがなく自分たちで新しい価値や行動を創り出していくようなこれからの社会において、核となる学び方といえます。

今回の実践にあたり、まずは全教職員が組織連携し、児童の現状分析に着手、具体的なプランを作成しました。次に、進捗状況の確認、プランの修正を経て、児童とともにふり返りを行っています。これこそがまさにマネジメント。

引き続き、児童自身が「問題解決学習」で鍛えられた思考力で、生活課題を解決していく学習課程を設定し、「学びに向かう力」を育成していきたいと考えています。

先日の学校評議員会で、朝の交通指導もしていただいている高橋委員から、「長年の課題であったけれど、最近、あいさつが本当によくなりましたね」というありがたい言葉を頂戴しました。あとの2つ「無言清掃」と「トイレのスリッパをそろえる」も、高学年を中心に質の高いものになってきていると感じています。

今後は、生活の質を向上させながら、よりよいものを創り出していくという頭の使い方を、外国語活動をはじめとする他の学習指導にも広げ、質の高い教育活動を児童と教職員で追求していきたいと思えます。

無言清掃

力を入れて床や手洗い場のよごれを落としています。



外国語学習「どこへ行きたい?日本編」



水・木・金の朝のグローバルタイム（15分）とあわせて、5・6年生では外国語の授業をしています。先日行われた6年生の外国語の授業では、エドワード先生に九州各県の魅力をクイズ形式で紹介したり、子どもどうして紹介し合ったりする学習をしました。旅行者役とツアーコンダクター役になって、ジェスチャーを交えながら、英会話をしていました。

《6月の主な行事》

- | | |
|------------------|-------------------|
| 5日(金) 実習B終了 | 18日(木) 1年県立美術館見学 |
| プール開き | 4年県立美術館見学 |
| 16日(火) 2年県立美術館見学 | 24日(水) 3年県立美術館見学 |
| 6年県立美術館見学 | 7月1日(水) 5年県立美術館見学 |